

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	39週	38週	第39週		第38週		第39週		第38週		第39週		第38週		第39週		第38週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	54	26	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	7	19	0	0	5	2	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	3	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	103	85	18	0	11	0	7	0	3	0	0	0	0	0	11	0	8	0
感染性胃腸炎	59	63	19	9	2	0	19	6	2	0	0	1	0	0	0	2	0	2
水痘	11	14	0	2	3	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	2	5
手足口病	62	100	10	2	6	2	8	1	6	2	1	1	0	0	1	0	0	2
伝染性紅斑	32	23	11	0	4	0	6	0	2	0	0	0	0	0	5	0	2	0
突発性発疹	18	28	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0
ヘルパンギーナ	39	73	3	2	10	5	2	0	0	1	0	1	0	2	1	1	10	2
流行性耳下腺炎	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	131	200	14	1	9	3	14	0	5	0	0	0	0	3	0	1	4	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	10	18	2	1	2	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

流行中	現在、RSウイルス感染症・伝染性紅斑の流行が見られています。
小流行中	現在、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・手足口病・ヘルパンギーナ・流行性角結膜炎の小流行が続いています。

<RSウイルス感染症とは>

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症であり、主な症状は鼻汁・咳・発熱ですが、気管支炎・肺炎などを引き起こすことがあります。発症の中心は0歳児と1歳児ですが、特に生後数週間～数ヶ月の時期に感染すると、重篤な症状を引き起こしやすくなるため注意が必要です。終生免疫は獲得されないため、生涯にわたって感染を繰り返します。年長児や成人における再感染は普遍的に見られますが多くが軽症です。患者の咳やくしゃみによる飛沫感染、手指や器物（ドアノブ、手すり、スイッチ、机、椅子、おもちゃ、コップ等）を介した接触感染により感染します。

<予防のポイント>

- ①流水・石けんによる手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生を励行しましょう。
- ②子供達が日常的に触れるおもちゃ、手すりなどは、こまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう
- ③咳エチケットを心掛けましょう。



従来は秋～冬期に流行していましたが、近年は流行時期が早まる傾向が見られます。また、再感染の場合は軽症例が多く見逃されやすいので、集団生活施設では、注意が必要です。

